地震を乗り越えて

未来へつなぐ、安平町の記録。

平成30年9月6日3時7分、胆振地方中東部を震源とした最大震度7（安平町は震度6強）の地震が町を襲い、多くの住宅や施設などが大きな被害を受けました。町では、発災後すぐに災害対策本部を設置し、被害状況の把握に努めるとともに、町の放送局である「あびらチャンネル」を通して、断水や通行止め、給水場所、災害ゴミの受け入れ状況などの情報提供を行っていました。全国各地から訪れたボランティアの活動を通して町が少しずつ本来の姿を取り戻す中で、町民にも明るさが戻ってきました。ボランティアの中には復興に携わるために移住を決断した方もおり、時間の経過とともに形を変えながら、今日の安平町を支えています。

復旧から復興へと移り変わっていく中で、コミュニティや挑戦の場を生み出し、安平町の未来に向けた動きが加速しています。

安平町公式HP
胆振東部地震

安平町の動き

平成30年9月	6日	3:07	地震発生
		3:40	災害対策本部設置
		3:45	町内全小中学校を避難所として開放
	7日		窓口業務再開
	13日		授業再開 （追分中学校・追分小学校・早来小学校・安平小学校） ※追分小学校は追分中学校を使用
	14日		授業再開（遠浅小学校・早来中学校） ※早来中学校は町民センターを使用
	18日		全町電気復旧
	29日		水道復旧
	30日	13:00	罹災証明集中発行開始（10/10まで）
10月	5日		罹災証明住家被害認定調査終了（第1次）
	10日		総務課に復興・生活再建支援室が設置される
	11日		罹災証明発行開始
11月	1日		仮設住宅入居開始
	30日		全避難所閉鎖
平成31年1月	15日		早来中学校仮設校舎で授業開始
	21日		追分小学校にて授業再開
2月	21日		安平町震災復興基本方針を定める
5月	16日		公費解体工事開始
令和元年9月	6日		復興祈念式典を追分公民館にて開催
12月	19日		安平町復興まちづくり計画策定
令和3年2月	13日		最後の避難指示が解除される
3月	31日		安平町災害対策本部解散
7月	1日		（仮称）早来地区義務教育学校建設工事着工

11月中（避難所閉所）

復興ボランティアセンター

「一人も置いていかない」

地震発生後、まちに希望や明るさを取り戻すために11月6日、一般社団法人安平町復興ボランティアセンターが設立されました。人が集い楽しめるイベントを催し、また、子どもたちのためにはあびら未来塾などの多岐にわたる活動を進めています。「8,000人の笑顔プロジェクト」では当時の早来小学校の6年生らに協力し、町を笑顔にしようと奔走、町内外で多くの注目を集め、たくさんの笑顔をもたらしました。

（復興ボランティアセンターは令和3年3月で活動を終了。後継団体が立ち上がり、町の未来のため活動を続けています。）